



EV バッテリー（リチウムなど含有）

令和8年3月12日

循環型社会推進課
直 通：092-643-3381
内 線：3 4 9 4
担 当：高木

「GBNet 福岡」研究会を東京で初開催します！

～ EV バッテリー資源循環によるレアメタルの海外流出阻止・新市場の開拓を目指して～

昨今の国際情勢の大幅な変化に伴い、レアメタル・レアアースといった重要鉱物への注目が増す中^{※1}、県では、昨年度に官民連携組織「グリーン EV バッテリーネットワーク（GBNet 福岡）」^{※2}を設立しました。GBNet 福岡では、EV バッテリーに含まれるリチウムなどのレアメタルの海外流出阻止、経済安全保障のリスク回避を目的に、全国に先駆けて、EV バッテリーの資源循環システム「福岡モデル」^{※3}の構築に取り組んでいます。昨年11月には、この取り組みが評価され、全国知事会の先進政策大賞（1位）を受賞しました。

この度、日本の経済安全保障の一翼を担い、新たな地域産業の創出も期待される GBNet 福岡の取り組みを全国へ波及させる一歩として、3月27日に「GBNet 福岡」研究会を東京で開催し、福岡県におけるサステナ（中古）EV リース事業^{※4}等の取組事例や国の政策動向を紹介します。

※1～4 次ページ参照

- 1 日 時 令和8年3月27日（金） 13：00～14：00
- 2 場 所 ロジスティードビル2階会議室（東京都中央区京橋二丁目9番2号）
※会場とオンラインでの同時開催

3 次 第

- （1）開会挨拶
- （2）知事挨拶（ビデオメッセージ）
- （3）GBNet 福岡の取組概要説明
- （4）環境省、経済産業省からの政策動向等の講演
- （5）質疑応答



GBNet 福岡 会議の様子

4 参加対象

GBNet 福岡参画企業（自動車メーカー、金属リサイクル業者等 約50企業・団体）、EV バッテリー資源循環に関心のある企業、自治体、団体等（80名程度）

★ 報道機関の皆さまへ

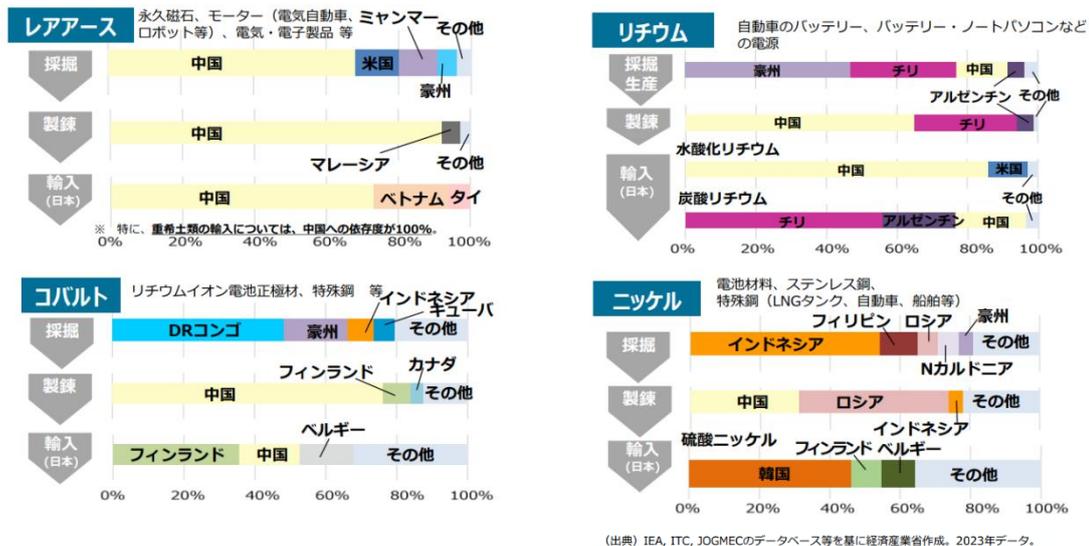
取材希望がありましたら、3月17日（火）16時まで下記担当までお問い合わせください。当日、12時30分から受付を行いますので、受付を済ませたうえで、係員の指示に従い入場してください。

【問い合わせ・参加申込先】福岡県環境部循環型社会推進課 事業化推進係 高木、増永

TEL:092-643-3381 e-mail: recycle@pref.fukuoka.lg.jp

※1 重要鉱物のサプライチェーンリスク

- EV バッテリーの原料であるリチウムやコバルト、ニッケルといった重要鉱物は、特定の国へ過度に依存。特に日本が、多くの重要鉱物の製錬工程は中国に依存。

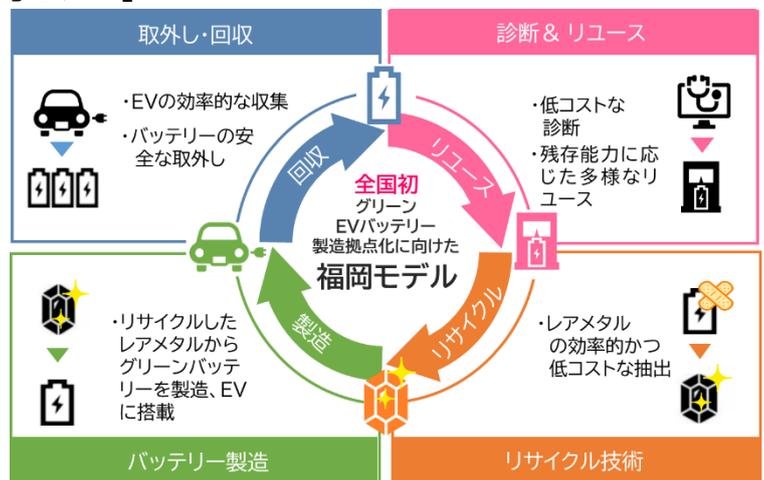


※2 グリーン EV ネットワーク福岡 (GBNet 福岡)

- EV バッテリーの資源循環システムを全国に先駆けて構築するため、福岡県が主導し令和6年7月に官民連携組織「グリーン EV ネットワーク福岡 (愛称: GBNet 福岡)」を設立。自動車メーカー、リサイクル業者など、多岐にわたる約 50 企業・団体が参画 (設立当初: 21 企業・団体)。

※3 EV バッテリー資源循環の「福岡モデル」

- GBNet 福岡が目指す、使用済 EV バッテリーの「回収」「リユース」「リサイクル」「再製造」の一連の工程を地域内で完結させる資源循環モデル。このモデルでは、レアメタルの安定供給確保による経済安全保障への貢献、CO₂ 排出量削減、そして新たな地域産業の創出という様々な効果が期待される。



※4 サステナ EV リース事業 (中古 EV リース事業)

- EV バッテリーの国内資源循環には、国内で安定してバッテリーを回収する必要がある。現状、中古 EV の約 8 割が海外へ輸出されているという課題の解決に向けて、国内での中古 EV の利用を推進するため、福岡県は自治体としては全国初の中古 EV リース事業を昨年 8 月から開始。
- 本事業では募集開始後数日で、募集枠を上回る多くの申し込みがあり、関心の高さが示された。本事業により、リース満了後の EV バッテリーを確実に回収し、次のリユース・リサイクル工程へと繋げていく。